

和歌山県 有田市立系我小学校

基本データ

所在地 有田市系我町中番 330
 児童生徒数 84 人
 教職員数 11 人
 蔵書数 約 6,500 冊
 年間貸出冊数 3,523 冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】公共図書館、地域との連携体制、ネットワークの構築

【活動のねらい】

- 多くの読み手と本に出会う機会を設けることにより、児童の読書への興味関心を高める。
- 学校と地域が連携して、児童が本に親しむ時間と空間を作り出す。

取組・活動の概要

- 全校児童を対象とした、本の読み聞かせ会。
- 2019 年度で 5 回目となる。校内図書館教育部の立案により、年 1 回、秋の学校開放月間中に実施する。
- 図書ボランティア・学校司書・教職員、計 8 名が読み手となり、4 つの部屋に分かれて読み聞かせを行う。児童は事前に配布されたプログラムを見ながら聞きたいと思う部屋に移動する。

【スケジュール】

- 7 月 実施日の決定・提案・参加依頼
- 9 月 事前打ち合わせ 本を持ち寄って組み合わせを決める。
- 10 月 プログラム作成・ポスター掲示・保護者案内配布



読み手と本を紹介するポスター掲示

- 11 月 「系小おはなし会」実施・事後ふり返りの会
- 終了後、児童が感想（あるいはお礼の手紙）を書き、図書館教育部が集約してそれぞれの読み手に渡している。



系小おはなし会の様子



系小おはなし会の様子



系小おはなし会の様子

取組・活動の工夫や特徴

- 自ら聞きたい本を選択する機会を設けることで、児童が主体的に参加することができるのと共に本との偶然の出会いを楽しむこともできる。

【確認事項】

- 前後半の二部制にし、読み聞かせを妨げないよう、緊急の場合を除いて途中退室はしない。
- 配慮の必要な児童には担任または支援員が付き添う。
- 緊急時に備え、前後2か所の出入り口を確保する。

【改善点】

- 一つの部屋で時間のかかる本が重なった場合、前後半の入れ替えに差ができるので、本を選定する際、読み手の所要時間を考慮して組み合わせを決めるようになった。
- 初年度は、部屋によって集まる児童数に大きな差が出ることを心配して事前に希望調査をしたが、読み手の気持ちに余裕ができ、少人数でも、児童が良い時間を過ごすことを重視するようになったため、2回目からはしていない。

取組・活動の成果や今後の展望

- 本校児童は、どの学年も月1回は読み聞かせの時間を設定していることもあって、以前から本を読んでもらうことを好む。
- 「自分で選ぶ」ことへのワクワク感は年々高まっていると感じる。児童の感想文を読むことで、意外な感じ方や本との良い出会いがあったことに気づく。読み手にとっては励みとなり、教職員にとっては取組の実施方法等について、次年度に生かすことができている。
- 図書館教育担当者が代わっても継続できるような組織作りを進めている。
- 事後のふり返りの時間には、読み手が集まって、児童の様子や選んだ本について話し合う。
- 図書ボランティアは、保護者を含め全員地域住民であり、校内外で児童が交流し合うことができるのも良い点である。

- 毎年、保護者や地域の方が数名参観に訪れる。今後は、もっと多くの参観者を招き、本に夢中になる児童の姿を見てもらいたい。